

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日

株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
------------------------	---------------

同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL:0120-094-777(通話料無料)
------	--

公告の方法	当社は以下のURLで電子公告を行います。 http://www.shizuki.co.jp/ ※事故その他のやむをえない事由により、電子公告を行うことができない場合は、 日本経済新聞に掲載いたします。
-------	---

上場証券取引所	東京証券取引所 市場第2部 大阪証券取引所 市場第2部
---------	--------------------------------

【ご注意】

- 株券電子化に伴い、株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

『指月(シヅキ)』社名の由来

『指月』の社名は、創業者山本重雄が長州(現在の山口県)の出身であること、また幕末長州藩の一代家老として藩政改革で功を成した村田清風が先祖にあたることから、毛利家歴代の居城である萩城(指月城)から名をお借りしたのが命名の由来です。



株式会社 指月電機製作所

本社 〒662-0867 兵庫県西宮市大社町10番45号
TEL:0798-74-5821 FAX:0798-73-0807



第82期 報告書

株主通信

平成21年4月1日～平成22年3月31日



特集: SHIZUKI TECHNAVI

スマートグリッドの普及にシヅキが貢献

トップインタビュー

真摯な姿勢を貫き、強い足腰を作る。
持続的に成長できる企業を目指して。

株式会社 指月電機製作所
<http://www.shizuki.co.jp/>

証券コード 6994
東証二部・大証二部

真摯な姿勢を貫き、強い足腰を作る。 持続的に成長できる企業を目指して。

期待される分野において 他企業との「協業」を推進

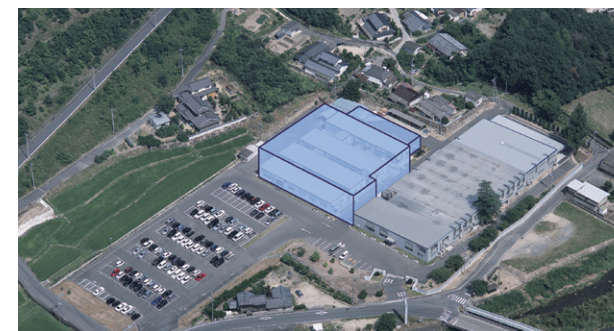
前期を振り返ると世界経済は依然不透明な状況にあり、当社グループもその影響を多大に受けました。ただ、その中で今期は自動車および電鉄車両向けのコンデンサ・モジュールの拡販に期待を寄せています。中でもEV(電気自動車)・HEV(ハイブリッド車)の主回路に用いられる商品が、この夏以降伸びてくると思います。また、すでに他企業とコラボレートしてプロジェクトに取り組む機会が増えていますが、その流れは今後さらに加速すると予測。他企業と「協業」して、ビジネスをクリエイティブし、課題をソリューションしていくことが不可欠になってくるはず。それは、今話題のスマートグリッドの分野でも同じ。電力源、用途が多様化すればするほど当社グループが培ってきた技術力と応用力がますます必要とされるに違いありません。

開発シフト化をさらに推進し、 本物の品質の伝播に挑む

他企業と「協業」するにあたり、今後はさらに

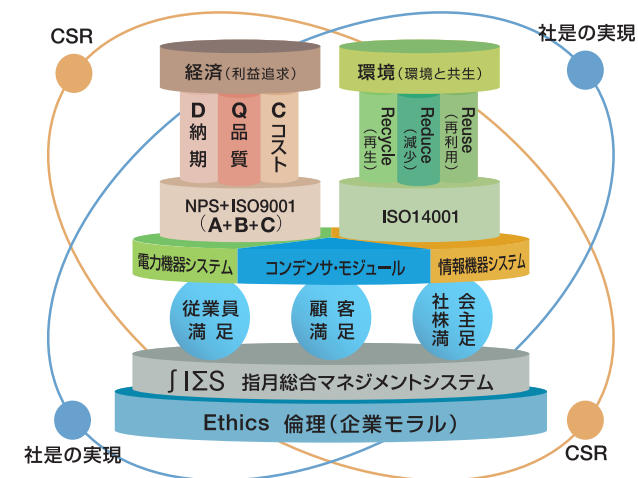
上流の工程からプロジェクトに携わることが増えてきます。現在力を入れている開発シフト化をさらに推し進めなければなりません。そこで秋田指月、九州指月の研究開発棟に続いて、来春には本社の研究開発棟を新たに完成させます。

秋田指月、九州指月の研究開発棟がお客さまの近い立場から開発に取り組むための施設だとすると、この研究開発棟は当社グループのモノづくりを支える基礎部分の開発を担うもの。場所は岡山となりますが本社の管轄となります。これから先、原子力の分野を筆頭に用途はさらに複雑・多様化し、世界規模で本物の品質というものが求められる時代になると考えますが、当社グループは万全の体制でそうしたニーズに応えて参ります。



本社研究開発棟完成予定地(岡山)

指月グループの経営概念



「JIS<指月総合マネジメントシステム>とEthics<倫理(企業モラル)>を基盤として社是の実現と社会的責任を果たし、永続的成長を实践。

NPS: New Production System
A+B+C: A(開発、営業など)+B(生産)+C(物流、サービスなど)

ピンチをチャンスと捉え、 得意とする領域に持ち込む

一方、コンデンサ・モジュール部門の一翼を担う電気二重層コンデンサは、現在転換期を迎えています。大型の設備投資を避ける企業が増えていることを受け、少ない設備投資で効果を出すという考え方にシフトし、すでに太陽光発電システムなどエネルギー関連の工場をメインにミニマム化した商品を送り出し好評を博しています。商品をミニマム化すると製造に手間を要するうえ量も必要とされますが、現在2交代制で対応。今後も対策を練り、当社グループが得意としている「多品種」「クイックレスポンス」の実践に努めて参ります。

社是

我々は人間性を尊重し 環境を大切に作る
無駄のない物づくりにより
お客様に満足を提供し
社業の発展を通して社会に貢献します

考働指針

1. 仕事とは約束であり
職場は約束を果たす場である
2. いかによれば可能かを語れ
なぜ不可能かを語る必要はない
3. 知恵を使え 気を使え 手を使え

代表執行役社長
梶川 泰彦

日本品質を、率先して 世界に発信できる企業へ

海外においては黒字が続くアメリカンシツキに常駐の技術者を派遣。スマートグリッドに関連する太陽光発電、風力発電の分野でニーズが高まっているパワエレ用コンデンサの増産体制を整えつつあります。アメリカンシツキからも技術部長が来日。本社、九州指月と連携強化をこれまで以上に推進し、日本の品質を、アメリカンシツキを介して発信していきます。

また、成長著しい中国に向けては九州指月に

「バーチャルライン」を作り、現地の人々を研修生として迎え入れています。将来的には中国にそのままラインを輸出し、稼働させるということも選択肢の一つに入れています。

他企業にはない「独自性」に 磨きをかけ2013年へ歩む

このように当社グループは厳しい状況下にありながらも、AIM2013で掲げている高い目標の達成に向けて堅実に取り組んでおります。数字を追うあまり、量の拡大、売り上げの拡大を急ぎ、達成したもの



アメリカンシツキ

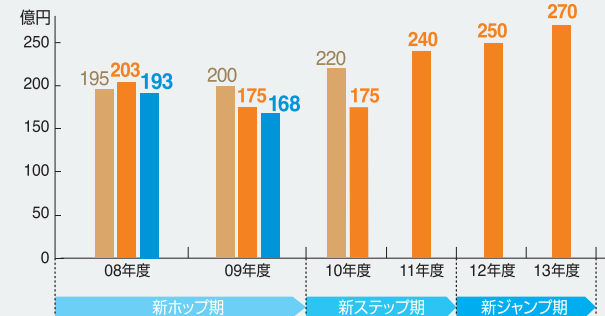


日本の品質をアメリカンシツキから発信



バーチャルラインで働く中国人研修生

売上高目標



経営指標

項目	単位	新ホップ期		新ステップ期		新ジャンプ期	
		08年度	09年度	10年度	11年度	12年度	13年度
営業利益	億円	13.6	13.0	14.0	26.4	28.8	32.4
総資産経常利益率(ROA)	%	6.9	7.2	7.3	11.9	12.7	14.1
一株当り利益(EPS)	円	28.3	32.8	28.3	50.1	54.0	60.9

実績: 08年度, 09年度, 10年度, 11年度
計画: 12年度, 13年度

のすぐに減衰してしまうようでは意味がありません。それよりも、どんな市場の変化にも揺るがず、持続的に成長し続けられる強い足腰を持つ企業を目指していきます。

当社グループは、高い内製化率により同業他社と比較しても生産対応が変化に追従できており、さらに飛躍できうる多くの可能性を秘めています。ステークホルダーの皆様方には前進する考働に期待を寄せていただきながら、今期も変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

AIM2013 経営戦略

- 対応型から提案・ソリューション型企业への革新
- 重点事業領域(ドメイン)の拡大
- 事業活動の最適化 (JISの展開)
- 共育と訓練 (指月PPVSの展開)
- 固有技術のプロ集団化 (研究・開発の環境整備)

AIM2013 VISION

コンデンサ・モジュール、クリーンエネルギー、ビジュアルメッセージ事業を柱に、機器単体からシステムまでのトータル・サプライヤーとして、世界のリーディングカンパニーを目指す。

JIS(シムス)をもとに 飛躍を目指すAIM2013

AIM2010

前中長期計画(6年計画)
AIM2010は、
2年前倒して、
2007年度に目標を達成

【シムス】
JIS

SHIZUKI
Integrated
Management
System

物づくり

- JIT・自動化
- NPS活動

人づくり

- 指月PPVS

全売上高
220億円

総資産経常利益率(ROA)
12%

営業利益
22億円

一株当り利益(EPS)
40.0円

全売上高
270億円

総資産経常利益率(ROA)
14%

営業利益
32億円

一株当り利益(EPS)
60.9円



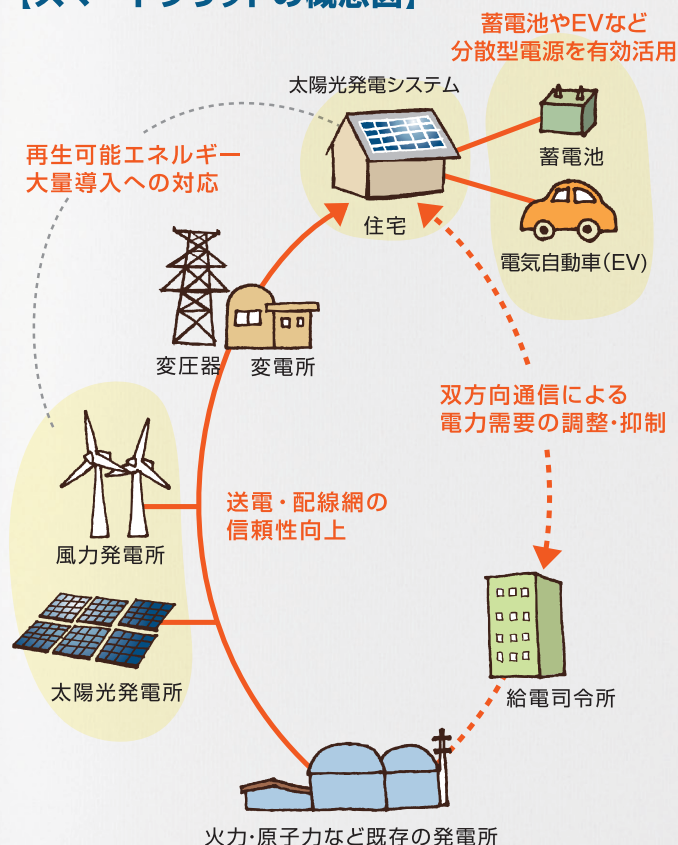
エネルギー消費構造の抜本的な改革にも、シツキのチカラ

スマートグリッド(次世代電力網)の普及に、シツキの商品が貢献!!

「スマートグリッド」 とは?

スマートグリッドという言葉をご存知ですか？
これは「次世代電力網」を表しており、
発電した電力を家庭や企業に送配電するまでの
インフラを、IT(情報技術)・通信技術と
センサー技術を駆使して、効率化するというもの。
これまで「一方通行」だった電気の流れを
「双方向」に変えることで、
電気をより賢く節約しながら、
効率的に使えるようになります。
ここでは、このスマートグリッドの実現に
必要不可欠なシツキの商品について
ご紹介します。

【スマートグリッドの概念図】



シツキはどんなカタチで役立っているの？

一口でスマートグリッドといっても、その内容はとても幅広いのが特徴。身近な例では「太陽光発電システム」が挙げられます。今後、「太陽光発電システム」がさらに普及し、家庭や企業が「自分たちで電気を作る」習慣が当たり前になると、これまでのように一方通行だった電力供給の構図は一変します。そして、その構図の重要な役割を担うのがシツキのコンデンサなのです。スマートグリッドには欠かせない「蓄電」のほか、電気のノイズを除去したり、安定した波形に整えたりする役割を担います。つまり、スマートグリッドの縁の下の力持ち的存在なのです。



SHIZUKI



電気の「蓄電」
電気の「ノイズ除去」
電気の「安定化」など

シツキに
おまかせ!

さまざまなシーンやニーズにあわせた商品をご提供

⚡ 瞬時電圧低下& 短時間停電補償用途に!

太陽光発電装置を配電系統に数多く接続すると、瞬時電圧低下や停電が発生頻度の増加が予想されます。その対策に欠かせないのが瞬時電圧低下・短時間停電補償装置。設置すれば、万一の際にも無瞬断で電源を切り替えます。



☀️ 太陽光発電 & 風力発電用途に!

太陽電池で発電した電気のノイズや高調波を除去したり、電気を安定した波形に整えたりするコンデンサ。シツキでは平滑用コンデンサやフィルタ用コンデンサ、スナバコンデンサなどさまざまな機能をもつ商品を提供しています。



Ⓜ️ 省エネ & 効率改善用途に!

電気エネルギーを効率よく貯蔵、放出することで省エネ・効率改善に寄与する電気二重層コンデンサ。太陽電池パネルなどの生産工場や、半導体製造装置、自動搬送機、プレス加工機、建設機械などへの採用をおすすめしています。



全社を挙げて環境に貢献

ますます盛んに、積極的に。シツキのエコ活動

アメリカのグリーン・ニューディール政策の流れを受け、日本でも温室効果ガスの25%削減を表明。現在、太陽光発電、風力発電、電気自動車などのクリーンエネルギー関連だけでなく、あらゆる商品の省エネ化が推し進められています。シツキも省エネの要となるコンデンサを製造するメーカーとして、その流れにいち早く対応。全社を挙げてエコ商品の開発、エコ活動に取り組んでいます。

TOPICS #01

家電、産業、電力分野からハイブリッドカーまで 秋田指月研究開発棟

現在、シツキではお客さまとの共同研究や共同開発を推し進めています。その先駆けとなったのが秋田指月研究開発棟。現在までに風力発電や太陽光発電用コンデンサから家電や産業のインバータ用コンデンサなどエコ商品を数多く輩出しています。中でも大手自動車メーカーと共同開発した新型ハイブリッドカーのパワエレ用コンデンサモジュールは、高品質・小サイズが高い評価を受けています。



秋田指月ではエコ商品を多く生産

新型ハイブリッドカーに採用されたDC/DCコンバータ用コンデンサ

TOPICS #02

産業分野のインバータ化の流れに対応する要 九州指月研究開発棟

昨年完成したばかりの九州指月研究開発棟では振動試験機やX線CT、電子顕微鏡などの最新鋭の試験装置や分析機器を用いながらお客さまとの共同研究、共同開発を行っています。中でも特に力を入れているのが急速に進む市場のインバータ化への対応。最新型の新幹線車両N700系のインバータ回路にも九州指月で作られた車両用モールドコンデンサが採用されています。



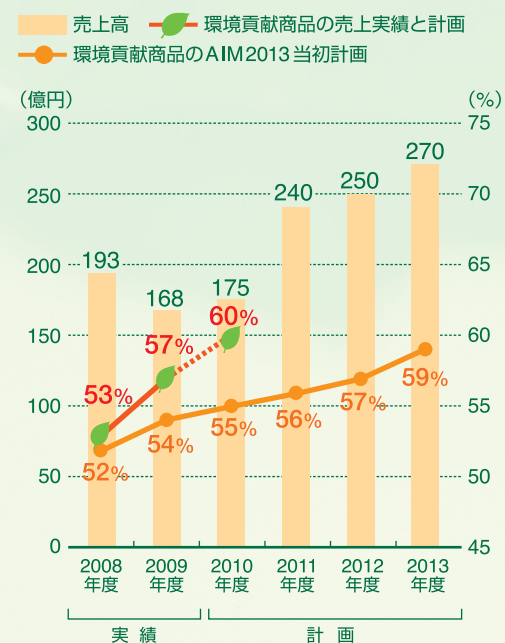
九州指月研究開発棟

新幹線車両N700系に採用されたモールドコンデンサ

ちなみに!

シツキではどのくらい エコ商品が作られているの?

環境に貢献した商品の売上比率



TOPICS #03

電気エネルギーマネジメントを通じて社会貢献 シツキのエコ活動

シツキは社業である電気エネルギーマネジメントを通じて社会に広く貢献したいと考えています。ムダを徹底して省くとともに、環境基本方針として全社員が事業を通じて環境経営に取り組むことを明記。継続的に環境保全に努める姿勢を打ち出しています。また「環境共生」をテーマとしたエコシンボルマークを設定。環境問題に向き合い、探求し続ける姿勢を航空機のレーダースコープに見立てて表現しています。

環境基本方針

指月グループは、企業の社会的責任を果たす為に、環境先進企業を目指し、全社員が^{*}事業活動を通じて環境経営に取り組み、地球環境・地域環境・工場環境の汚染防止と環境マネジメントシステムの継続的改善に取り組みます。

スローガン

環境を大切にする
無駄のない物づくりにより
社会に貢献します



環境共生をテーマにした
エコシンボルマーク

※事業活動とは… ●電力設備・機器、情報表示システム・機器、電気二重層コンデンサ・応用商品の設計・開発・製造・営業及び技術サービス支援業務(保守点検、交換、測定・分析診断、修理)
●フィルムコンデンサ及びフィルタ回路等の複合モジュール品の設計・開発・製造・営業

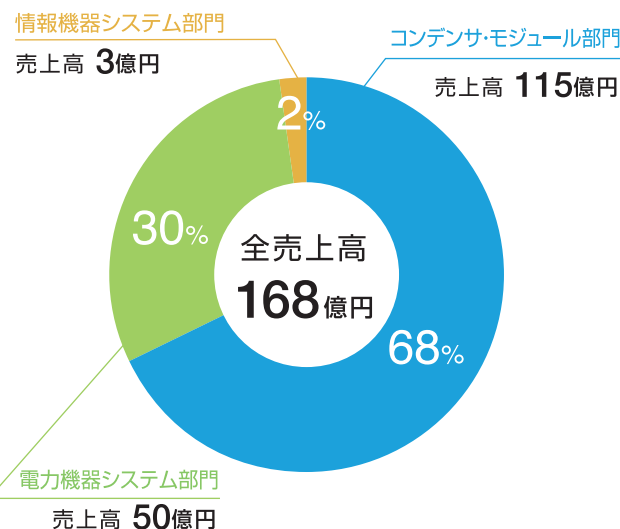
事業概要と展望

当期におけるわが国の経済は、海外経済の改善や国内の経済刺激策の効果により持ち直しの動きが見られました。しかし、依然として自律性は弱く設備投資の抑制、雇用情勢の悪化懸念が残るなど厳しい経済環境で推移いたしました。

引き続き、海外メーカー参入による価格競争の激化などの懸念材料はあるものの、一方で環境共生・電力の自由化・新エネルギー（風力・太陽光・燃料電池）の積極的な活用など拡大している市場もあります。

市場環境変化への対応、および新たな事業領域の確立のため「攻めの経営」を展開すべく中長期経営計画「AIM2013」にもとづき事業拡大を図ってまいります。株主の皆様にはますますのご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

部門別売上高比率（2010年3月）



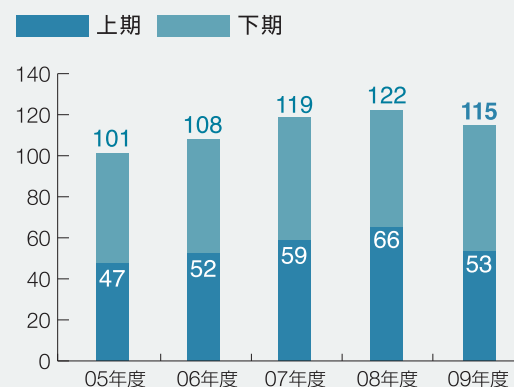
売上高構成比率 68% **コンデンサ・モジュール部門**

環境対応車の増産などにより自動車産業向け商品の生産は上向きつつあり、また鉄道分野では国内外の好況に支えられ堅調に推移しております。一方、産業機器用コンデンサの需要は依然として低調に推移しました。

今後は、自動車、新エネルギー発電機器、IH家電機器のインバータ用フィルムコンデンサ、および蓄電用電気二重層コンデンサの需要はさらに拡大するものと予測しております。これらのニーズに応えるため、小型、高機能フィルムコンデンサ、高エネルギー密度・高出力密度の電気二重層コンデンサの開発を進め、市場に投入してまいります。



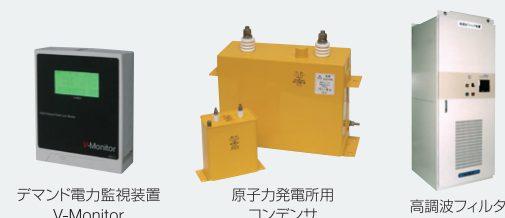
コンデンサ・モジュール部門売上高 (単位:億円)



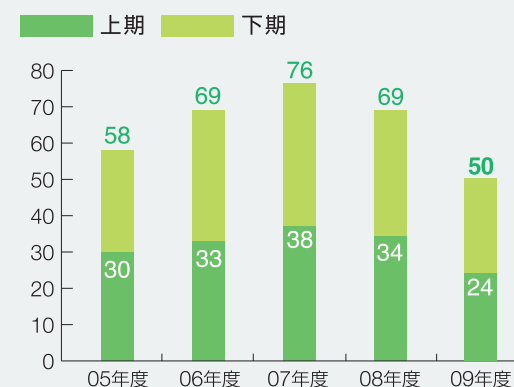
売上高構成比率 30% **電力機器システム部門**

省エネ・クリーンエネルギーなどの新規需要の動きがあり、工場建設・設備投資の下げ止まりは見られますが回復には至らず、電力機器需要は低調に推移しました。一般的には国内設備投資の低迷はしばらく続くと予想されますが、薬品、太陽電池、リチウムイオン電池など好調業種では設備拡張の動きも見えはじめております。

これらの分野に対し、当社が得意とする高調波・フリッカ対策・力率制御などの「電力品質改善装置」の販売を強化すると共に、電気二重層コンデンサなどの技術を融合した新エネルギー、省エネ対応の商品開発を推進いたします。



電力機器システム部門売上高 (単位:億円)



売上高構成比率 2% **情報機器システム部門**

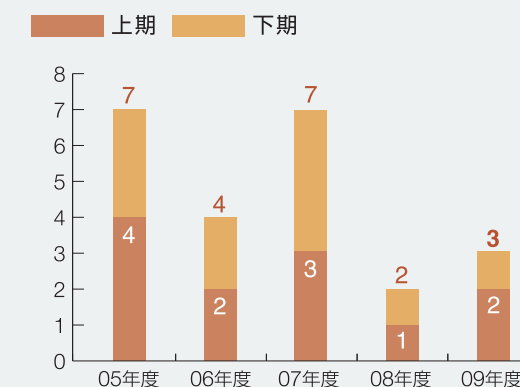
大型商談の端境期にありますが、「鉄道用表示装置」「バス用表示装置」などの拡販活動により伸ばいたしました。

当社独自の技術によるTFT液晶パネルと、フルカラーLED表示デバイスの活用商品を一層充実させ、「バス搭載の表示装置（行先・運賃・音声合成装置）」「鉄道用表示装置」の営業活動強化を図ってまいります。

また、「空港用表示装置」においては、大型液晶パネルによる情報表示性能の高い商品の提案、受注確保を目指します。



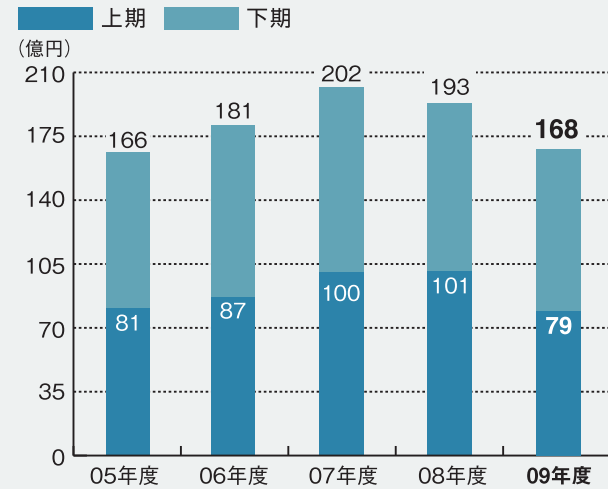
情報機器システム部門売上高 (単位:億円)



財務ハイライト(連結)

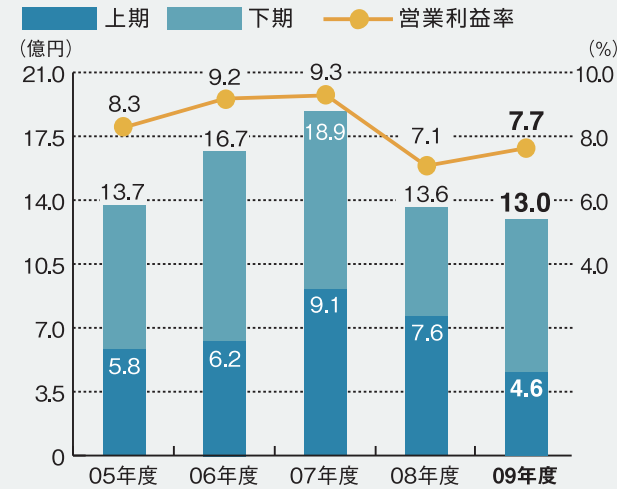
売上高

電力機器の減収をコンデンサ・モジュールでカバーし、
ミニマムの減収に留める



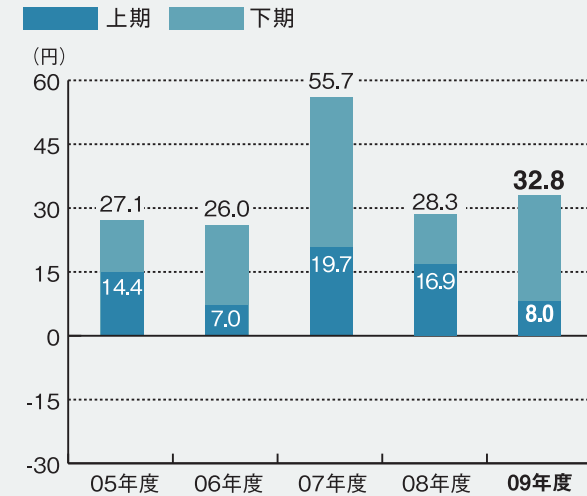
営業利益・営業利益率

「入りを計りて出を制す」経営理念の実践により、
堅固な営業利益水準を確保



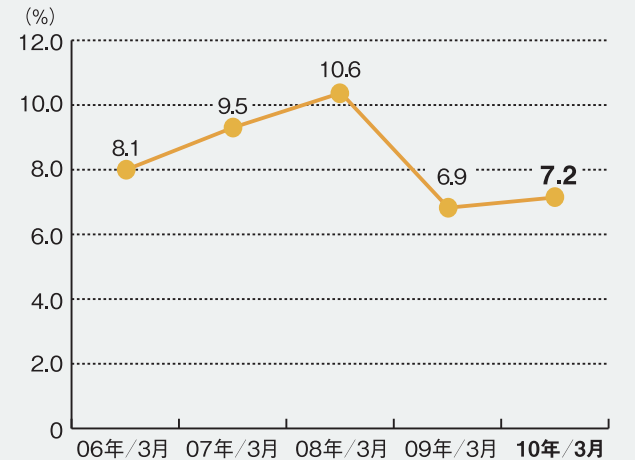
1株当たり利益(EPS)

安定的な利益確保によるEPSの向上実現



総資産経常利益率(ROA)

堅実な利益確保によりROA改善



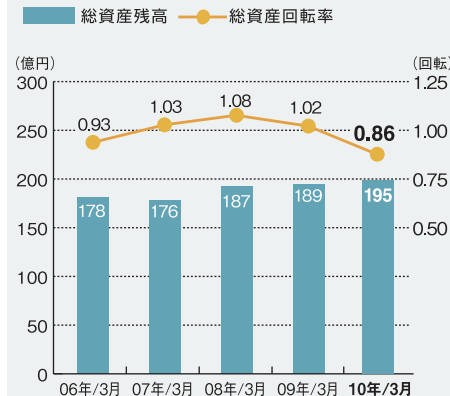
POINT

各種経営指標の向上を背景に
積極的な設備投資を実現

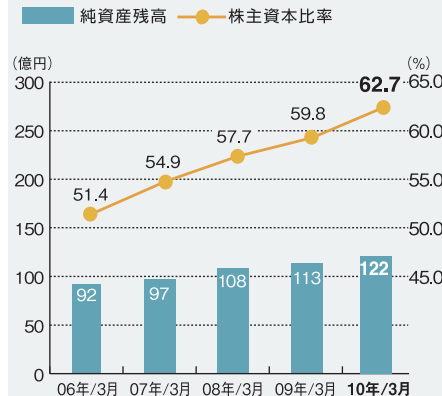
売上高は電力機器部門の減収を
電鉄車両向けなどのコンデンサ・
モジュール部門がカバーし、最小
限の減収に留まりました。

株主資本比率、有利子負債依存度、
棚卸資産回転率などの経営指標
はさらに改善しており、これを背
景に積極的な設備投資を行って
おります。

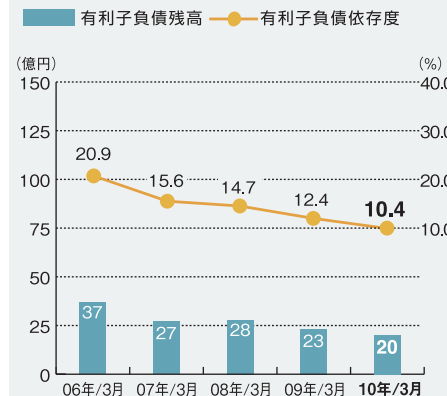
総資産残高・総資産回転率



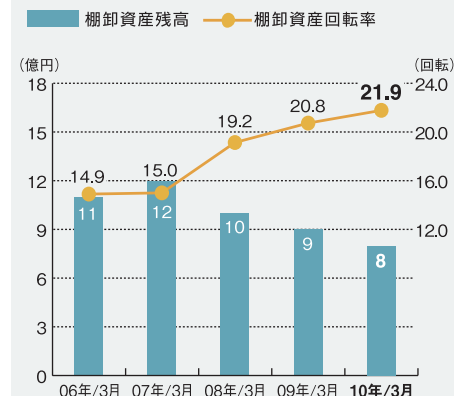
純資産残高・株主資本比率



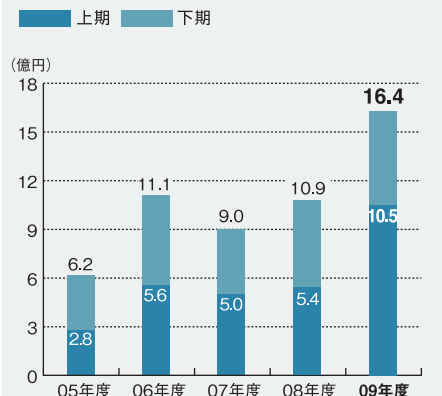
有利子負債残高・有利子負債依存度



棚卸資産残高・棚卸資産回転率



設備投資額



連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	第81期期末 平成21年3月31日現在	第82期期末 平成22年3月31日現在
資産の部		
流動資産	9,044	8,594
現金及び預金	4,080	4,094
受取手形・売掛金	3,434	3,250
棚卸資産	931	768
その他資産	599	482
貸倒引当金	△1	△1
固定資産	9,868	10,856
有形固定資産	8,614	9,560
建物及び構築物	2,107	2,655
機械装置及び運搬具	1,578	1,678
土地	4,404	4,404
建設仮勘定	247	528
その他	277	293
無形固定資産	58	40
投資その他の資産	1,195	1,255
投資有価証券	545	618
長期貸付金	28	17
その他	654	639
貸倒引当金	△32	△19
資産合計	18,913	19,450

POINT

積極的な設備投資による固定資産の増加

売掛債権および棚卸資産の減少など効率的な資金回収促進と、充実した手許流動性を原資に積極的な設備投資を行いました。

(注)十百万円の位を切り捨てて表示しております。

(単位:百万円)

科目	第81期期末 平成21年3月31日現在	第82期期末 平成22年3月31日現在
負債の部		
流動負債	4,854	3,837
買掛金	803	741
短期借入金	1,999	990
未払費用	1,203	1,073
未払法人税等	250	234
引当金	420	409
その他	176	387
固定負債	2,714	3,394
長期借入金	300	1,000
退職給付引当金	949	940
その他	1,464	1,454
負債合計	7,569	7,231
純資産の部		
株主資本	11,207	12,021
資本金	5,001	5,001
資本剰余金	3,302	3,308
利益剰余金	3,882	4,657
自己株式	△977	△946
評価・換算差額等	107	164
その他有価証券評価差額金	48	91
土地再評価差額金	859	859
為替換算調整勘定	△800	△786
少数株主持分	29	32
純資産合計	11,344	12,218
負債純資産合計	18,913	19,450

POINT

有利子負債の圧縮ならびに自己資本比率の増強

借入金の返済を進めるとともに、利益剰余金の増加により、自己資本比率は62.7% (前期比+2.9%改善)となりました。

(注)十百万円の位を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	第81期期末 平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで	第82期期末 平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで
売上高	19,346	16,806
売上原価	13,805	11,615
売上総利益	5,541	5,191
販売費及び一般管理費	4,177	3,894
営業利益	1,363	1,297
営業外収益	260	239
営業外費用	330	157
経常利益	1,294	1,379
特別損失	40	38
税金等調整前当期純利益	1,254	1,341
法人税、住民税及び事業税	233	317
法人税等調整額	168	34
少数株主利益	2	3
当期純利益	849	985

連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算 差額等	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
平成21年3月31日残高	5,001	3,302	3,882	△977	11,207	107	29	11,344
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△210		△210			△210
当期純利益			985		985			985
自己株式の取得				△4	△4			△4
自己株式の処分		6		36	42			42
株主資本以外の項目の当期連結 会計年度中の変動額(純額)						57	3	61
連結会計年度の変動額合計		6	775	31	813	57	3	874
平成22年3月31日残高	5,001	3,308	4,657	△946	12,021	164	32	11,218

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	第81期期末 平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで	第82期期末 平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,086	2,130
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,183	△1,526
財務活動によるキャッシュ・フロー	△643	△491
現金及び現金同等物に係る換算差額	△27	2
現金及び現金同等物の増減額	1,232	114
現金及び現金同等物の期首残高	2,747	3,980
現金及び現金同等物の期末残高	3,980	4,094

POINT

堅実な営業キャッシュフローの積み上げ

税引前利益および減価償却費の積み上げにより、安定した営業キャッシュフローを確保しております。

投資キャッシュフローの増加

研究開発を目的とした積極的な設備投資により、投資キャッシュフローが増加しました。

個別貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	第81期期末 平成21年3月31日現在	第82期期末 平成22年3月31日現在
資産の部		
流動資産	8,095	7,593
現金及び預金	3,339	3,057
受取手形・売掛金	3,162	2,978
棚卸資産	320	240
その他資産	1,275	1,317
貸倒引当金	△1	△1
固定資産	8,729	9,670
有形固定資産	5,458	5,699
建物及び構築物	1,039	967
機械装置及び運搬具	170	158
土地	4,144	4,144
建設仮勘定	5	336
その他	97	91
無形固定資産	30	18
投資その他の資産	3,241	3,953
投資有価証券	542	615
長期貸付金	1,471	1,560
その他	1,652	1,992
貸倒引当金	△425	△214
資産合計	16,825	17,263

(注)十百万円の位を切り捨てて表示しております。

科目	第81期期末 平成21年3月31日現在	第82期期末 平成22年3月31日現在
負債の部		
流動負債	4,295	3,331
買掛金	1,108	1,249
短期借入金	1,800	800
未払費用	918	746
未払法人税等	233	99
引当金	188	182
その他	45	254
固定負債	1,889	2,611
長期借入金	300	1,000
退職給付引当金	147	174
その他	1,441	1,437
負債合計	6,184	5,943
純資産の部		
株主資本	9,733	10,368
資本金	5,001	5,001
資本剰余金	3,302	3,308
利益剰余金	2,407	3,004
自己株式	△977	△946
評価・換算差額等	907	951
その他有価証券評価差額金	48	91
土地再評価差額金	859	859
純資産合計	10,641	11,319
負債純資産合計	16,825	17,263

(単位:百万円)

個別損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	第81期期末 平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで	第82期期末 平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで
売上高	17,554	15,283
売上原価	13,041	11,490
売上総利益	4,513	3,793
販売費及び一般管理費	3,257	2,912
営業利益	1,256	881
営業外収益	127	147
営業外費用	257	141
経常利益	1,125	887
特別利益	82	210
特別損失	40	15
税引前当期純利益	1,168	1,083
法人税、住民税及び事業税	211	190
法人税等調整額	238	86
当期純利益	718	806

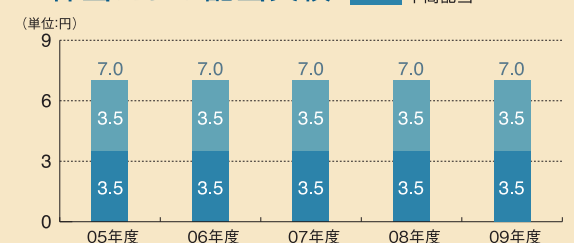
(注)十百万円の位を切り捨てて表示しております。

期末配当金 1株当たり3円50銭

当期の配当金は、中間配当金とあわせ、1株当たり7円とさせていただきます。

1. 期末配当金 1株当たり3円50銭
2. 支払対象者 平成22年3月31日最終の株主名簿及び実質株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者
3. 支払開始日 平成22年6月11日

1株当たりの配当実績



個別株主資本等変動計算書

当事業年度(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
平成21年3月31日残高	5,001	3,302	2,407	△977	9,733	907	10,641
事業年度中の変動額							
剰余金の配当			△210		△210		△210
当期純利益			806		806		806
自己株式の取得				△4	△4		△4
自己株式の処分		6		36	42		42
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)						43	43
事業年度中の変動額合計		6	596	31	634	43	678
平成22年3月31日残高	5,001	3,308	3,004	△946	10,368	951	11,319

2010年3月31日現在

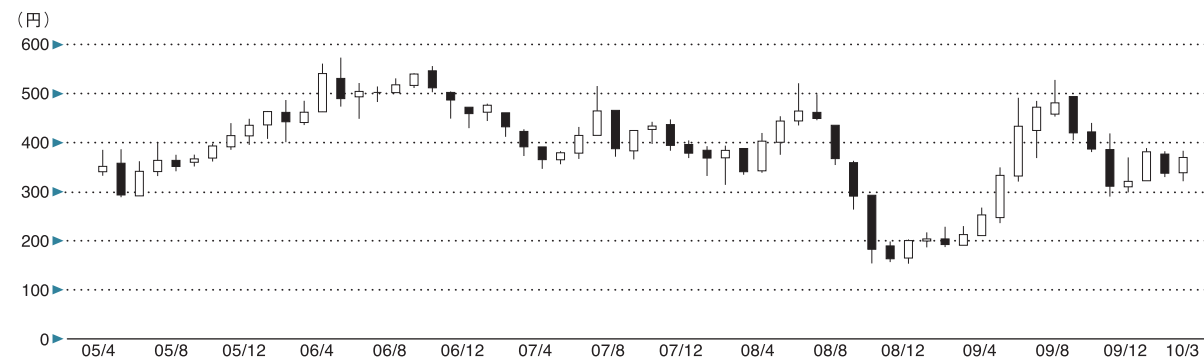
株式の状況

発行可能株式総数	128,503,000株
発行済株式の総数	33,061,003株
株主数	4,308名

大株主（上位10名）

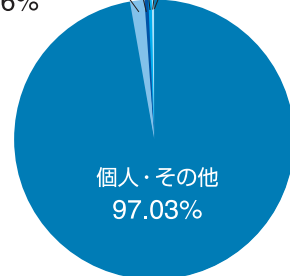
株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
三菱電機株式会社	6,980	21.1
ゴールドマンサックス インターナショナル	2,816	8.5
株式会社りそな銀行	1,299	3.9
日本スタートラスト 信託銀行株式会社	1,130	3.4
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社	939	2.8
株式会社みなと銀行	925	2.7
指月協友持株会	674	2.0
東京海上日動火災保険株式会社	565	1.7
株式会社ノーリツ	560	1.6
株式会社三菱東京UFJ銀行	431	1.3

株価チャート

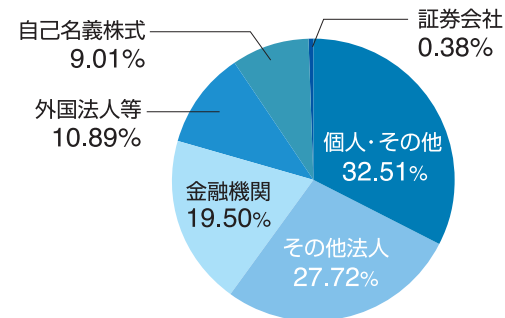


所有者別株主数分布状況

証券会社 0.51% 金融機関 0.30%
 外国法人等 0.58% 自己名義株式 0.02%
 その他法人 1.56%



所有者別株式数分布状況



会社概要

商号	株式会社指月電機製作所
英文名称	SHIZUKI ELECTRIC COMPANY INC.
本店所在地	〒662-0867 兵庫県西宮市大社町10番45号 TEL:0798-74-5821
ホームページ	http://www.shizuki.co.jp/
創業年月日	昭和14年3月10日
設立年月日	昭和22年9月1日
資本金	5,001,745,595円
グループ従業員数	1,283名
主要取扱業務	<ul style="list-style-type: none"> ●コンデンサ及び関連機器・装置 ●電力機器・装置 ●情報機器・装置 の製造販売
営業拠点	<ul style="list-style-type: none"> ●東京支社 ●東京支店／関西支店／中部支店 ●札幌営業所／仙台営業所／日立営業所 ●広島営業所／福岡営業所 ●マレーシア連絡事務所／韓国連絡事務所

生産子会社

社名	資本金	出資比率(%)
九州指月株式会社(福岡県)	490,000千円	100.0
秋田指月株式会社(秋田県)	300,000千円	100.0
岡山指月株式会社(岡山県)	100,000千円	100.0

販売・生産子会社

社名	資本金	出資比率(%)
アメリカンシヅキ株式会社 (米国 ネブラスカ州)	17,600千米ドル	100.0
指月獅子起(上海)貿易有限公司	250千米ドル	100.0
タイ指月電機株式会社(タイ バンコク)	33,000千バーツ	70.0

2010年3月31日現在

役員

取締役	※社外取締役
取締役会長	梶川 泰彦
取締役	木佐木 正文
取締役	川本 十七生
取締役	池田 義範※
取締役	増田 幹登※

執行役	
代表執行役社長	梶川 泰彦
専務執行役	木佐木 正文
常務執行役	志方 正一
常務執行役	足達 信章
常務執行役	浦屋 昌吾
執行役	谷口 義裕
執行役	伊藤 薫
執行役	矢部 久博
執行役	小田 敦

